

2021年10月15日

報道関係各位

サザエ食品株式会社  
石屋製菓株式会社  
石屋商事株式会社

サザエ食品株式会社 代表取締役社長交代のお知らせ

サザエ食品株式会社（本社：札幌市中央区）は、10月14日開催の取締役会において、代表取締役社長：青木 隆明に代わり、取締役会長で、石屋製菓株式会社代表取締役社長の石水創が代表取締役社長に就任することを内定しました。

現社長の青木 隆明は取締役相談役に就任いたします。

なお、2021年11月下旬開催予定の第7期定時株主総会終了後に開催される取締役会で正式決定される予定です。

また、石水 創は、石屋製菓株式会社・石屋商事株式会社の代表取締役を兼任いたします。

以上

---

本リリースのお問合せ先

サザエ食品株式会社

総務部 豊嶋、佐藤（011-664-3366）

石屋製菓株式会社

経営管理部 広報 CSR 課 亀村（090-2693-1485）、加藤（090-8707-1483）

2021年10月15日

サザエ食品株式会社  
石屋製菓株式会社  
石屋商事株式会社

石水創代表取締役社長就任につきまして

1. サザエ食品について

- ・創 業 1957（昭和32）年11月
- ・設 立 2015（平成27）年6月
- ・資 本 金 15百万円
- ・従業員数 480名（社員162名・パート318名）
- ・事業内容 菓子・米飯類製造販売及び飲食業
- ・株 主 石屋製菓株式会社 100%
- ・関連会社 十勝製餡株式会社（北海道中川郡池田町）

2. 新代表取締役社長・石水 創（いしみず はじめ）について

- 2004（平成16）年4月 石屋製菓(株)入社
- 2006（平成18）年5月 石屋製菓(株)、石屋商事(株)取締役就任
- 2008（平成20）年5月 同常務取締役就任
- 2009（平成21）年7月 同専務取締役就任
- 2010（平成22）年7月 同代表取締役副社長就任
- 2013（平成25）年7月 同代表取締役社長就任
- 2015（平成27）年6月 サザエ食品株式会社取締役会長就任

3. 背景

サザエ食品(株)は1957（昭和32）年11月に創業しました。  
2015（平成27年）石屋製菓(株)の100%子会社として道内事業を継承しました。  
同時に取締役会長に就任し、現在に至ります。

4. 就任に至った経緯・主な理由

サザエ食品(株)は社員の高齢化、製造設備の老朽化による更新費用の増大などが経営の課題となっておりました。

また、サザエ食品(株)の米飯・和菓子および惣菜部門を有し道内64店舗を展開する北海道に根差した店舗運営は、石屋製菓(株)にはない強みでありました。

こうした中、両社の代表取締役社長を兼務することで、会社間の連携がより促進され、インフラの統合によるコスト削減や双方の強みを活かした販売戦略が可能となり、更なる事業活動の拡大が図られると判断いたしました。

## 別紙

### 5. 具体的な方策

ISHIYA グループとしてのシナジー効果を最大限引き出すため以下の項目を掲げております。

#### <お菓子のトータルクリエーション>

石屋製菓(株)は高級洋菓子を中心とした観光土産、ギフト商品、白い恋人パークによるテーマパーク事業を展開しています。一方、サザエ食品は量販店・百貨店など全道 64 店舗で米飯・和菓子・総菜の販売など、日常生活に密着した事業を展開しております。

このような双方の事業基盤を活かすことでトータルの菓子製造販売を実現していきます。

#### <インフラの統合による効率化およびコスト削減と環境負荷低減>

将来的には接客教育・物流・通販・製造部門の社内インフラの統合を視野に入れ、業務効率化によるコスト削減やエネルギー、廃棄物・食品ロスの削減による環境負荷低減を図ります。

#### <人材育成によるクオリティの向上>

サザエ食品(株)の抱える社員の高齢化問題について、年齢ピラミッド適正化を目的に 10~20 年ほどかけて社員間の人材交流を促進し解決を図ります。また、販売・製造や食品衛生管理ノウハウの共有により ISHIYA グループ全体でのレベルの底上げを図ります。

### 6. ISHIYA グループとしての今後の展望

#### <コラボ商品の開発>

和洋折衷のコラボ商品を開発し、特に若い世代への和菓子文化の定着などを図っていきます。

#### <道外販路の拡大>

北海道の地で収穫し、北海道で生産、オール北海道の高品質なお菓子を全国の皆さんに味わっていただきたいため、道外への販路も更に拡大を目指していきます。

以上